

2015年7月22日、ウィーン

中東欧諸国の自動車部門は外国投資に大きく依存。しかし、内需に前向きの動き。

中東欧地域が、世界的自動車メーカーにとって魅力的な投資先となっている。2014年に東欧諸国で生産された自動車は360万台。EU全体の生産量の21%に相当する数だ。コファスの分析対象となっている中東欧諸国には、33の自動車工場が存在し、その大半が外国直接投資により設立されたものだ。この分析により、域内消費者による好調な自動車販売にもかかわらず、中東欧諸国の自動車工場は今なお外需に大きく依存していることが明らかになった。

自動車部門は中東欧諸国の経済活動において重要な役割を果たしている

中東欧地域は、魅力的な労働コスト、西ヨーロッパへの地理的近接性、高学歴労働力、そして改善しつつある事業環境を武器に外国直接投資を呼び込んできた。コファスは、相当程度の自動車生産数を誇る中東欧諸国の自動車部門を分析対象とした。すなわち、チェコ共和国、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、スロバキア、そしてスロベニアである。中東欧地域には、多額の外国直接投資のおかげで国際的な競争市場を生き抜くことのできたシュコダとダチアという二大地元ブランドがある。

自動車や輸送設備の製造は、中東欧経済に重大な影響を及ぼしている。ハンガリーやチェコ共和国、スロバキアなど同地域に属する国の一部では、自動車部門が総生産量の約1割を占めている。また、分析された6カ国では2013年に85万人が雇用されるなど、非常に多くの雇用が創出されている。

コファスの中東欧担当エコノミスト Grzegorz Sielewicz は次のようにコメントしている。「中東欧地域で生産された自動車数はこの10年で倍以上に増加しました。最も大きな成功を見せたのがスロバキア、チェコ共和国、そしてルーマニアで、自動車生産数が3倍から4倍に増加しました。しかし、いずれ市場は飽和状態に達しますから、この高い成長率がいつまでも続くわけではないことに留意する必要があります。」

強い輸出影響

自動車輸出は中東欧地域の対外貿易において大きな割合を占めている。例えばスロバキアでは、輸出総額の25%を占めている。中東欧地域の自動車生産はその大半が外部市場に向けられているために、外需の影響を強く受けている。とはいえ、現在の情勢からは、主要輸出市場であるユーロ圏の経済は回復傾向を見せ、見通しも改善されつつある。ユーロ圏及びその他のヨーロッパ諸国におけるこれらの回復傾向により、自動車需要は伸びている。

ロシア需要の低下が同部門にマイナスの影響を及ぼしているものの、他の輸出先や中東欧諸国の国内販売による需要の増加によりカバーされている。

内需の増加が自動車の国内販売を下支え

一部の外部市場に関して不透明な状況に直面しているとはいえ、国内では前向きな動きが見られている。中東欧諸国の内需は、改善した労働市場、抑制されたインフレ、原油安、消費意欲の向上、そして魅力的な金利による、家計消費の見通しの改善の恩恵を受けている。高い支出性向は、中東欧経済における自動車販売の増加につながっている。顧客は一般家庭に限られず、企業もまた乗用車や商用車の保有台数を拡大している。今年度のユーロ圏のGDP成長率が1.5%と予想されるなどの景気見通しの改善により、商用車の販売は大きく向上している。商用車の需要増加は、特に軽商用車を多数販売しているポーランドの製造工場では前向きなメッセージと受け取られている。

とはいえ、この国内支出の増加は中東欧地域の自動車部門を外需依存から脱却させるには不十分な規模である。同部門が輸出による影響を大きく受けているために、外国市場の悪化によるリスクは、国内の成長性の増大で軽減されるとしても、回避できないだろう。同地域の自動車輸出構造では、ロシアが若干の割合を占めているが、特にユーロ圏経済の見通しの改善もあって、同部門の全体的業績に与える影響は少ないものと思われる。

製造業者の収益性は売上高の増加に比例せず

中東欧市場で自動車販売の売上高が増加しているにもかかわらず、自動車製造者の収益性が同様に増加する状況には至っていない。多くの自動車製造業者が今なお過剰生産能力や顧客による大幅な値引き交渉に加え、ディーラーによる自社登録に苦しんでいる。

連絡先:

ジョナタン・ペレズ - Tel. 03 5402 6108 – jonathan.perez@coface.com

コファスとは

取引信用保険で世界有数の企業であるコファス・グループは、国内及び輸出取引において、取引先の債務不履行のリスクからお客様を守る為のソリューションを、全世界の企業に提供しています。2014年には、4,406名のスタッフのサポートによって、コファス・グループは14億4100万ユーロの連結売上高を計上しました。98か国における直接的及び間接的なプレゼンスによって、コファスは40,000を超える企業の200か国以上にまたがる取引をカバーしています。コファスでは、企業の決済動向に関する独自の知見と、350名のアンダーライターの専門知識に基づいた、160か国に及ぶカントリー・リスク評価を四半期毎に発表しています。

フランスでは、コファスはフランス政府の輸出保証の管理をしています。

www.coface.jp

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています。
ISINコード: FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA

COFA
LISTED
EURONEXT